

平成30年度（平成29年度実施分）個別施策評価シート

① 総務 委員会

評価する個別施策	自治区の組織力強化 ・地域への関心を深め、住民相互の連帯感を醸成するため、コミュニティ活動を支え、地域自治の基本組織である自治区への加入促進に努めます。 ・各自治区の情報や抱える課題の共有を図るとともに、自治区のあり方の検討を進めます。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		30	どちらかといえば遅れている
	どちらかといえば順調	51～75			・自治区への加入促進事業の目標値に対しての取り組みを行っているが向上が図られていない。 ・コミュニティ活動が活発に行われ、地域の問題は地域で解決する取り組みとあるが見えてこない。 ・自治区加入促進事業、自治振興事業、ふるさと新発見事業の3つの事務事業の自己評価が全てCであり、全般的に遅れているのは明白である。
	どちらかといえば遅れている	26～50	○		
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			(不足している) ・自治区の加入促進の見直しが必要である ・自治区により世帯数の格差や部有財産があるため見直しの必要がある。	
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			ある。ふるさと新発見事業は自治区の組織力の強化（加入促進等）につながっていない。	
	その他コメント			なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			・地域の関心を深めるため、コミュニティ活動の推進など組織作りを明確にする。 ・自治区加入支援事業は加入することにメリットがある制度へ変える。 (例えば自治区加入者はゴミ袋が半額で買える) ・賃貸住宅への取り組みなど不動産会社の広告に賃貸住宅の町内会費を家賃と一緒に管理会社が集めることが出来るような仕組みへ変える必要がある。	
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・現在の42自治区を13小学校区単位のコミュニティに再編する。 ・新たに再編したコミュニティに自治振興費を交付するなど自治振興費交付対象を変えとか、自治区を再編するなど抜本的な見直しが必要である。 ・再編したコミュニティでは地域の課題解決にも前向きに取り組む。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・議会から提案したが、地域担当職員は成果が見えてこないため廃止。 (課長級が出席し、部毎で解決策をまとめる) ・ふるさと新発見事業は企画課が取り組む事業としては必要ないので廃止し、博物館が市民協働課が行うべきではないか。	
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			・平成29年度の自治区の加入率は横ばいとなったが、「昨年レベルを維持できた」と考えるのか、「下げ止まった」と考えるのかで、打つべき事業が変わってくるので、まずその評価を行う必要がある。	
その他コメント				・地域格差はあるが自治区加入に於いてはアパート（大家）マンション（管理会社）等に対して積極的に加入促進に力を入れる。	

平成30年度（平成29年度実施分）個別施策評価シート

② 総務 委員会

評価する個別施策	人材の確保 ・充実した診療体制と7対1看護体制の維持を図るとともに、災害拠点病院（地域中核災害医療センター）、地域周産期母子医療センターとしての機能を果たすため、医師、看護師などの医療従事者を確保します。 ・医師、看護師の業務負担を軽減し、職務に専念できる体制づくりを進めます。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント
	点数	チェック	評価点	
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		25 遅れている ・診療科の機能を維持するための医師が確保されていない。 ・看護師の離職に歯止めがかかっていない。 ・看護助手、メディカルアシスタント等の臨時職員の確保が十分でない。
	どちらかといえば順調	51～75		
	どちらかといえば遅れている	26～50		
	遅れている	0～25	○	
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・必要な医師を確保できる環境が整っていない。 ・看護師の業務負担を軽減し職務に専念できる環境づくりがされていない。
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			なし
	その他コメント			なし
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・離職防止を初めとする看護職員確保対策事業に積極的に取り組む必要がある。 ・教育研修部門が貧弱であり、臨床研修医が育たないために医局の意向を聞きながらの環境整備が必須である。
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・看護助手及びメディカルアシスタントの採用の自由度と責任を病院側へ与える。 ・臨床研修医確保のために最先端の医療機器の導入を図る。
	廃止すべき事業・内容はあるか			なし
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			なし
その他コメント				

平成30年度（平成29年度実施分）個別施策評価シート

③ 総務委員会

評価する個別施策	長期的かつ安定的な財源の確保 ・まちの活性化促進による財源確保に努めます。 ・財源の根幹である税収入の安定確保のため、適正な課税と収納率の向上に努めます。 ・財政状況を考慮するなか、財政調整基金などの長期的財源となる基金への積立てを実施します。 ・安定財源の確保のため、新たな財源の開拓に努める一方、国に対して、地方の役割分担に見合った財源確保が図れる税制への改革を求めています。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント
	点数	チェック	評価点	
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		60 どちらかといえば順調 ・ 収納率向上については高く評価できる。 ・ 老朽化が進むな公共施設等の課題がありまちづくり活性化による財源確保が厳しい。 ・ 財政調整基金の約4.2億円は標準財政規模の1/10以上で問題はないが、公共施設整備はまだ不足と考える。
	どちらかといえば順調	51～75	○	
	どちらかといえば遅れている	26～50		
	遅れている	0～25		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・ 大規模な財源需要の増加に備え基金への積み立てなど財源確保の取り組みを再度検討する必要がある。 ・ 例えば「まちの活性化による財源確保に努める」を目的として事業を組み立てるならば、部課を横断した複数の施策で達成すべき。 ・ 新たな歳入確保の事業が不足している。
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			なし
	その他コメント			
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			・ 資金管理及び運営の指針、運用基準、に関する内規見直しが必要である。 ・ 公共施設設備には、利用者が安全かつ快適に利用できるように利用者ニーズに応え計画的に更新を行う。 ・ 私有地へ借地料を支払っている場合の固定資産税の減免を見直す。
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・ 給与所得者の特別徴収による納税義務者の割合を少しでも上げる取り組みが必要である。 ・ 長期的かつ安定的な財源の確保と財源に見合った事業の実施などが健全な財源運営に見える化にするために、総合計画同様(10年)財政計画を作成すること。 ・ 安定した財源確保のために新たな歳入確保と歳出抑制の取り組みを行う必要がある。
	廃止すべき事業・内容はあるか			・ ・
	その他コメント (不要だが廃止しない場)			
その他コメント	・ 債務削減目標は必要であるが、緊急性の高い市民ニーズには優先的な予算化が必要。			